

新人議員がたくさん生まれた市議会

議会はどう変わったか？ どう変わらなかったか？

村上議員の一般質問も紹介します



問 阿寒本町では夜間や休日などはタクシーはない。それを補完するものを考えないか。

答 日曜はバスも運行していて既存バス路線の利用が一番だが、他の事例も収集したい。

問 阿寒本町に子育て移住を受け入れるエリアをつくらないか。

答 5年度には地域おこし協力隊2名で、移住の促進、空き家情報を発信している。

問 暗所視支援眼鏡の購入助成について就労・就学の条件をやめるべきではないか。

答 誤解を与えてしまうことも考えられるので、先行事例をふまえ検討する。

問 津波避難にかけられる時間を勘案し、津波避難が困難な場所はどのくらいあるか。

答 新釧路川から大楽毛の区間で8か所ある。今後新たな指定が進めば解消される見通しである。

問 鶴野児童センター、星が浦老人福祉センターなどを複合施設に統合し、津波避難機能を設けることはできないか。

答 避難施設2か所の指定を考えており、避難の心配はなくなるので、現時点では考えていない。

問 大楽毛の複合施設に車いす用のスロープをつけることはできないか。

答 スロープの長さが100-120m必要なことからスロープは考えていない。

「オール与党」体制変わらず

多くの新人は、自政ウ、市民連、公明、創志会の与党会派に所属。無所属となった参政党も含め、市が提案したすべての議案に賛成。共産党を除く「オール与党」体制は変わり



採決における共産党の態度

6月議会最終日、採決が行われました。共産党は、音別町認知症グループホームを無償譲渡する議案や、学校給食センターの建設工事の契約などの議案に反対、補正予算などには賛成しました。

浄水場の建設費が大幅に増額されたことに対しては「①資材の価格動向を注視し、事業費の圧縮に努めること ②水道料金の値上げにつなげないこと」を求め、子どもデジタル人材育成事業では、釧路の自然の中で子ども同士が交流・成長できる事業に積極的に取り組むべきとの意見を表明しました。

私は性的少数者への差別を一掃する努力を尽くします。性はグラデーションであり、一人として扱われません。だから、多数者・少数者ご区別なく、時代は克服していくべきだと思います。

「LGBT差別禁止は女性を傷つける」と、反動的な立場から法律の廃止を求めました。性的少数者の人権を否定するもので、さすがにこの主張は、与党会派にも支持されませんでした。

市政は「LGBTの人権に敵対」

「LGBTに対する『理解増進』と言いながら、差別を温存・拡大させかねない法律ができました。」

しかし、参政党議員は、「この法律でも過剰な主張・要求が広がる」と、反動的な立場から法律の廃止を求めました。性的少数者の人権を否定するもので、さすがにこの主張は、与党会派にも支持されませんでした。

しかし、「オール与党」も市長には不満があります。「物価高のなかで市は何もしてくれない。そんな声をいっぱい聞く」と、自民党議員が市長を追及する場面もありました。